

## ごあいさつ



皆さんは「冬来たりなば春遠からじ」という言葉を耳にしたことがあると思います。

冬特有の灰色を帯びた空から舞い落ちる白い雪。そして、西山から吹き付ける身を切るような冷たい風に堪え、心待ちわびる暖かな春の日差し…。

サクラは、厳しい冬に耐えながら春を待ちわびる北国に住む私たちにとって、豊かで暖かな春の訪れを告げにやって来る、まさに「春の使者」であります。

また、その昔、サクラの花が咲くのを見て人々が農作業を始めたと言われますように、サクラの花は事の始まりを告げる「季節の告人」でもあります。

町の東から桜前線がゆっくりとした早さで西山を目指します。そして、およそ一ヶ月の時間をかけ、山里を淡いピンク色に染めて行くのです。

長沼町には、先人達の手により守り受け継がれてきた歴史と文化の息吹が今も脈々といきづいており、そのことが町に住む私たちにとって大きな誇りともなっております。

今年、千年に一度巡り来る記念すべき千年紀の年であり、新しい世紀に向けての出発の年でもあります。

「水と緑と歴史の町」の象徴であり、いにしえの時代より守り受け継いできた我が町のサクラ達を是非ひと目ご覧いただきたく、皆様にご案内申し上げます。

最後になりましたが、撮影をして頂きました写真家の曾山賢一氏に心から感謝申し上げます。

西暦 2001 年 4 月 1 日

長沼町長 廣田 勝男

